

皇基グループについて



皇基グループは2003年に設立され、皇基、SUNRISE、APOLLO、TAICHI 4社によって構成された。グループ主の商品は胡蝶蘭苗研究開発、育成及び切花である。皇基とSUNRISEの所在地は台湾。皇基は苗の育成、研究開発と人材育成業務を担当している。SUNRISEはグローバル販売業務を担う。APOLLOとTAICHIはベトナムに於ける胡蝶蘭切花の生産基地である。

APOLLO社はベトナムのダラットにある。ダラット地方は高品質の胡蝶蘭切花を生産するのに適した温度と日照条件を備えております。当社は海拔1,000メートルに精密コントロール温室2棟（約16,000平方メートル）及び通常温室4棟（60,000平方メートル）を所有しており、総占有地約66ヘクタールになる。一方、TAICHI社はベトナムタイニン地方に位置している。約700ヘクタールの敷地内に精密コントロール温室を3棟所有しており、胡蝶蘭の元株生産を主としている。

皇基グループは世界的な農業企業を目指している。



高品質胡蝶蘭切花の生産



われわれは胡蝶蘭切花専門生産会社であるゆえに、以下作業の標準化を図っております。

- 1、切花の後処理技術。
- 2、確立された包装技術。
- 3、出荷品質管理体制システム。
- 4、物流管理。
- 5、物流中の温度管理。

などに於いて標準化されており。顧客に大きな安心感と満足を与えていた。

2006年、弊社商品はSUNRISEというブランドで日本市場に販売しており、顧客から大きな満足度を得られている。将来、新たな市場において更なる高品質の商品を提供していく所存でございます。



品質、設備、技術及びサービス

われわれは商品に対して厳しい品質管理と精確な生産出荷日程を行っている同時に環境を考慮したシステムを作り上げております。

省エネの温室設備採用。

殺虫剤など農薬使用量減少への努力。

また、台湾の研究機関と提携し、ウイルス検査体制を確立した。現在ELISA,RT-PCRなどウイルス検査技術を確認。胡蝶蘭苗のいろんな媒体に於ける繁殖技術を用いて10品種の胡蝶蘭系のノーウイルス量産に入った。

顧客の満足度を高めるためにわれわれは台湾に研究センターを設立した。絶えない努力で胡蝶蘭の品種開発と人材育成に努める。

